

2020/05/20

**FIBA 3x3 NEWS Article****クロススポーツマーケティングがいかにして日本を 3x3 の先駆者にしたか**

刺激的で真新しいその光景に衝撃を受けた後、中村考昭（クロススポーツマーケティング株式会社取締役社長）はすぐさま 3x3 の世界的な魅力に気づいた。

中村が 3x3 に魅了されたのは、2012 年に開催された第 1 回ワールドツアーだった。中村は、ウラジオストク（ロシア最大の港町）にチームを派遣した。

落ち着いた景色にコート上で繰り広げられるペースの速い動き。その組み合わせは目を引くものだった。「その光景に驚いたとともに、3x3 の可能性に気付きました。」と、中村は言う。「3x3 の魅力はスピード・迫力・マルチカルチャー・生活空間での開催・グローバル、この 5 つです。」

未知の世界に飛び込む「挑戦」ではあったが、中村は 3x3 に自信を持っていた。そして日本でのワールドツアー開催を実現させたのだ。

2013 年、クロススポーツマーケティングは日本初の FIBA 3x3 大会となったワールドツアーマスターズを東京で開催した。興味深いことに、この大会は東京オリンピックでの 3x3 種目開催会場と全く同じ場所で行われたのだ。翌 2014 年は仙台で決勝戦を行った。それ以来日本は人気の 3x3 開催地となり、昨年の宇都宮ファイナルでは街の中心部に建つ歴史的建造物、二荒山神社での大会開催を成功させた。

## ※動画※

日本での大会は、歴史的なロケーション・エンターテインメント・ファシリティ、この 3 つをもってその形を完成させている。「宇都宮ファイナルでは、会場だけでなく街全体が 3x3 によって盛り上がりを見せました。」中村は言う。「3x3 の持つポテンシャルを宇都宮ファイナルで具体的に証明できたことで、我々は自分たちが世界のリーディングモデルになっていることを確信しました。」

「日本でも世界でも、3x3 が認知されていなかった状態からスタートし、3x3 の大会を開催してきたことをとても誇りに思います。」

## ※動画※

中村の 3x3 における足跡は、3x3.EXE PREMIER\* のコミッショナーになるまでに及んでいる。3x3.EXE PREMIER は 2014 年に日本で始まり、現在では 5 ヵ国 1 地域 102 チームにまで拡大している。「3x3.EXE

PREMIER は最大級のグローバルリーグになりました。この規模にまで成長させることができたことをとても誇りに思っています。」と、彼は言う。

\*3x3.EXE PREMIER : FIBA 公認のプロリーグで、FIBA 3x3 ワールドツアーの出場権を得ることができる。今では日本の FIBA ランキングポイントの 90%以上がこのリーグから生み出されている。

「3x3 にプロリーグが一つもないという事実は魅力的で、3x3 の特性を最大限に生かしたリーグ構成にするためにはどうすればよいか、徹底的に考え抜きました。」

ゼビオ（クロススポーツマーケティング or 3x3.EXE PREMIER では？）の先駆的な取り組みは地域（日本）での 3x3 の成長を促進し、重要な事例として 3x3 のオリンピック正式種目認定を後押しした。しかるべくして、3x3 は東京でオリンピックデビューを果たすこととなったのだ。

注：東京オリンピックはコロナウイルス感染症のため 2021 年に開催延期

## ※動画※

「3x3.EXE PREMIER の成長が、台湾・インドネシア・ニュージーランド・韓国・タイへの進出につながったのです。」中村は言う。「この拡大は、各地域での 3x3 の盛り上がりにも貢献しました。」

「そのような取り組みの実績が、3x3 の東京オリンピック正式種目決定を導いたと思います。」

覚悟を決めた中村は、3x3 の未来は東京オリンピックを終えた後、特に明るくなると信じている。「人気は年々高まっていると思いますが、そのポテンシャルはまだ十分発揮されていないと思います。」彼は言う。

「3x3 がオリンピック種目ということを超えて、世界の中でメジャーな存在になるために、私は強い思いを持っています。」

「3x3 はクロススポーツマーケティングにとって非常に重要なビジネスです。」